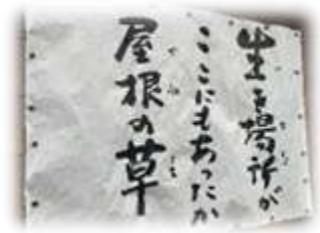


2月28日（土）逃げて

二月最後の日。二月は名前の通りに「逃げて」いきました。あっという間でした。本日はオフで、所用を済ませたり、散歩をしたり、本屋に行ったりしました。歩きながら考えるのは、学校が抱えている問題や、三月にやっておかなければならないことなどなど。気候は完全に春。二月が逃げて、三月が去る。そして春がやってきます。



2月27日（金）制作・検定・色素

六年生が卒業制作に取り組んでいます。小学校生活で作る最後の図工の作品です。それぞれの思いを小物入れに書き込み、思い出の一つにするのです。好きなサッカーチームのエンブレムを描いたり、好きなキャラクターを描いたり、自分の思いや好きな言葉を描いたりして、最後の作品に息吹をかけています。この作品は、多くの子が永久保存にするようなので、完成まで本気です。



二年生の九九検定も、残すところ一か月を切りました。二年生のうちには合格することになっています。先輩たちは皆合格してから、三年生に進級しています。この日も三名が合格しました。苦勞して分、喜びも大きく、校長室を去ってからも、歓声が聞こえてくるようでした。教室でも、多くの子が拍手で検討をたたえていました。



五年生の理科では、葉の色素が水に溶けるかを学び合っていました。各テーブルには葉と水が用意されていて、緑色の色素が溶けるかの実験準備が進められていました。実験前には、22人が「溶ける」、7人が「溶けない」と予想をしました。それぞれの考えがぶつかる場面もありましたが、答えは実験が出してくれました。



2月26日（木）送る会・親切・撮影

今年の六年生を送る会もすばらしい会となりました。



一年生～五年生の出し物も、六年生の合唱も、プレゼントも本当に感動的で素敵でした。この日を迎えるまでにたくさんの準備や調査などをしたことも伝わってきました。すぐ一着には、100を超える感想が送られてきました。送る側も送られる側も大きな感動があったことを、子供の声で実感させてもらいました。

五年生の道徳で「親切」についての学習がありました。親切をしたが誤解されて叱られた子が、後に校長先生から前項の前でほめられることとなります。同じ行為なのになぜ感情が違うのかを考えました。「ほめられるか」「認めてもらうか」「知ってもらうか」が感情には関係していることを、子供たちが議論で導き出しました。「本当の親切は誰にもほめられなくても気分がよい」と、発言してくれた子もいます。

職員室前の廊下で、撮影をしていた六年生がいます。動画を作っていると教えてくれました。毎日撮っているそうです。いつから撮っているかは分かりませんでした。かなり手間のかかることをしていると思いました。おそらく、この手間が楽しいのでしょう。きっと大きな達成感と、見た者の感動を生み出してくれると感じました。自走する子は、発想と継続の力も育つのです。



2月25日（水）ワクワク・まとめ・作品

二年生の廊下に、自主学習のワークが貼ってあります。左半分は問題があり、右半分は「ワクワクメニュー」です。自分で決めた課題に取り組むスペースなのです。よく見ると、驚かされました。探求が始まっている子もいるのです。「どうしてイライラするのか」「キリンの首はなぜ長いのか」「電車の路線について」などなど、自分で見つけた問いを調べてまとめている子が数多くいます。自走する子が育っていると、嬉しくなりました。

六年生の算数は、小学校のまとめに入りました。活動の様子を見ていると、一年生の問題を解いているようでした。



25 問の問題がありましたが、満点をとれない子も数人いました。ケアレスミスや勘違い、**軽く**見ていたのでしょうか。二年生、三年生・・・と順にプリントが配布されていくようでしたが、「こんな難しいこと**したっけ?**」などと、懐かしみながら、問題を解いていました。

誰もいないある教室に、作品が並んでいました。**五年生**が図工で取り組んだもの。電のこをつかって作り上げたものです。かなり凝ったものが多く、担任に「どれくらいの時間をかけたのか」を訊いてみると「**家でやってきた子**もたくさんいる」と教えてくれました。学校では全員一律の時間しか用意できません。このように、**自主的に**自分の時間を作って取り組むことは、素晴らしいことです。**自走**する姿を、ここでも感じました。



2月24日（火）カウント・編制・感謝

どのクラスにもカウントダウン**カレンダー**が登場しています。毎日めくるだけではなく、めくったものを貼っているクラスもあります。一年生のクラスでも並んでいました。コメント欄には「白組で**優勝**したのが思い出です」「みんなと**遠足**に行っていて楽しかった」「**漢字のとめはねはらい**が・・・」などが書いてありました。このカレンダー一枚一枚にいろんな**思い出**が詰まっているのでしょうか。



通学班仮編制がありました。地区ごとに、教室に集まってから編制が始まります。一年生の教室の前には、**班長**さんが集まってきました。教室まで**案内**するためです。しかし、班長が来る前に自分の行くべき教室へと歩いていく一年生がたくさんいました。もう**一人で行ける**ということなのでしょう。これも**自走**する姿。一年間生活してきたので、一人でも他の教室に行けるようになっているのです。



学校を支えてくださっている**ボランティア**さんへの感謝の手紙が集まってきました。今年是一同に会することを避け、個別に手渡していくことにしました。例年、インフルエンザの感染が広がっている時期だからです。子供たち

が直接渡すことはできませんが、感謝の気持ちはこの手紙にしっかり詰まっていると思います。

2月23日（月）あと少し

朝、近くの公園を散歩していると、いつもの5倍ほどの鳥に出会いました。カモ、サギなどなどが、池だけでなく人の歩道にも出てきています。この子たちも、暖かくなってきたことを喜んで出てきたようです。今日は、話題のある映画を観てきました。人を見送ることの尊さを学んだ気がしました。卒業式もあと少し、しっかりと六年生を送ってあげたいと思いました。



2月22日（日）なんにでも

三連休の中日。所用があり、出かけましたが今日もとても暖かい日でした。出先の近くに珍しく本屋があったので、久しぶりに物色して数冊を購入しました。少し仕事もしたいと思い、タブレットを持ち帰っていたので、先週撮った写真を見ていました。ある子が校長室に来て、自分の成長を発表してくれた時の写真をみて、私もまだまだ「なんにでもなれる」と、元気をもらいました。



2月21日（土）あと少し

本日はとても暖かくなると聞いていました。出勤して校長室の暖房をつけましたが、一時間ほどで止めました。春を感じさせるような気候。ここに籠って作業するのがもったいなく感じ、いつもより早く退庁しました。珍しく校庭には誰もいません。きっと様々な場所で、この暖かい天気を楽しんでいるのだと、勝手に想像しました。



2月20日（金）発表会・似顔絵・裁縫



低学年の保護者会。一年生も二年生も、**学習発表会**を行いました。練習の様子は何度も見ていたのですが、本番は出張のために見ることができませんでした。残念です。写真を撮っておいてもらったので、それを見ると保護者の前でも**堂々**と自分の成果を発表できたと確信しました。担任に聞いても「**よくできた**」と話してくれました。一年間で身についたこと、この日のために練習したことを張り切って楽しく表現できたようです。

おうぎ学級では、**顔**の絵を描いていました。先生の顔を描いているのかと思って見ていたら、卒業する**先輩**の顔を描いていると分かりました。その先輩は別教室で学習しています。**写真**を見ながら一筆一筆ていねいに書き進めている様子を、先生に見てもらっていたのです。鼻、口、目、髪の毛などなど、**一つひとつ**に評価をもらって、楽しそうに描き進めていました。

雑巾作りを進めている**六年生**が数人、話し合いながら何かの作成を進めていました。ある人にある物を**プレゼント**するのだと教えてくれました。これも**ジャンプ課題**です。自ら進んで取り組んでいる活動、目が輝いています。「お世話になった人への**贈り物**なので・・・」と話してくれましたが、ここではこれ以上はお知らせしません。卒業を控えた六年生、きっと素敵な**贈呈場面**を想像しているのでしょう。



2月19日（木）成功・助言・委員会

一年生が学習発表会の**リハーサル**をしていました。最初に登場した子は、一人で**けん玉**を披露することになっているようです。皆が見つめる中、一発で成功。大きな拍手が起こるとともに、**驚き**の聲が沸き上がりました。「すご!」「えー!」と。玉をお皿に乗せるのは、簡単そうですが、**緊張**が伴うと途端に至難の業になります。紅白歌合戦でもその姿を見たことがあります。翌日の本番。大成功させて、保護者からの拍手をもらってほしいです。



二年生も学習発表会の練習をしていました。グループの子に自分の発表を聞いてもらい、助言をもらうのがこの時間の活動のようです。ある子には「説明が上手だった」「目線が前でよかった」「どうどうと話してよかった」などのカードがありました。友達からのお墨付きをいただいて、嬉しそうでした。自信をもって、保護者の前でも発表してくれそうです。



今年度最後の委員会活動。図書室では本の整理をしている図書委員会の子の姿がありました。「みんなに見やすいようにしてほしい」「整理して、本がすぐ見つかるようにしたい」などとインタビューに答えてくれました。ある子は「私は本が大好きなので、扇小の子にも本好きになってほしいと思って、整理している」と答えてくれました。このようなリーダーの思いは必ず扇っ子に伝わるはずだと信じています。



2月18日（水）十歳・送る会・デザート

四年生が保護者会の授業で「十歳宣言～過去から未来～」を発表しました。学校で身につけた技術や知識を披露したり、自らの夢や将来への思いを語ったりしました。この練習は何度か見ていましたが、実際に会を見て、とても感動しました。「私は、パパやママのような大人になりたい」「これからも見守ってください」などなどの保護者への呼びかけは、胸が熱くなりました。とても素敵な会でした。この時の思いを、忘れないでほしいです。



二年生が大きな紙に字を書いて飾っているのを見つけました。聞いてみると「〇〇〇会」で使うというのです。言葉だけでなく、その色にも意味があることを知りました。字を書く担当の子が、色つけの中心者のようです。四年生の「十歳宣言」のように、この字もその会で披露されるのでしょうか。私はこの過程、準備の活動を見るのが大好きです。なぜなら、子供たちの目が輝いているからです。



五年生が調理実習で作ったものを持ってきてくれまし



た。この日は白玉入りの**フルーツポンチ**。給食後のデザートにもってこい、嬉しくなりました。食べてみると、少しイメージとは違った味がします。**サイダー**を使っているようです。これは子供の**アイデア**なのか、この味が今は普通なのか、考えてしまいました。もちろん美味しいことには違いがありません。もし子供の発想で、**挑戦**した結果だ分かっていたら、もっと味わって食べたことでしょう。

2月17日（火）合唱・練習・雑巾

音楽朝会。「**変わらないもの**」を全校で合唱しました。途中、訳あって退出してしまったのですが、感想を送ってくれた子がいたので気持ちよく歌ったことが分かりました。3, 4年生が「**5, 6年生の歌声**はきれいで、もっと練習したい」と書いていたのが印象的です。**大きな声**で歌うところ、**おさえて**歌うところを意識して歌ったことも分かりました。この曲は、大好きな子が多くて、各教室からもきれいな歌声が聞こえてきていました。

二年生の子が**PC**で見たいたのは、自分が発表する姿です。リハーサルを**動画**で撮り合ったようで、それを見て反省や付け加えをメモしていました。保護者の前で発表するのだと、ある子に教えてもらいました。**家でも練習**していると言っている子がいました。もしかしたら、本番前**に見ている**保護者の方もいるかもしれません。この**練習過程**がとっても大事なのです。本番、成功するでしょう。

六年生が雑巾を作っていました。卒業前に、学校に**プレゼント**してくれるようです。学校が**きれい**になるためにと張り切って取り組んでいると、ある子が教えてくれました。授業が終わって、この活動を忘れていた頃、一人の子が**私に**プレゼントを持ってきてくれました。**あまった**タオルで作った小さな雑巾。ちゃんと**包んで**ありました。私も大切に使います。



2月16日（月）白玉・会談・音

五年生が調理実習を行いました。この活動を見に行く前に、職員室には白玉団子が届けられました。「ホットタイム」、お菓子を作って食べて、楽しい時間を過ごすのが目的のようです。「一緒に作ったり食べたりしゃべったりして、とても楽しい時間だった」「家族とも作れば、楽しい時間になりそう」などの感想を聞かせてもらいました。素敵な時間を、お菓子を囲んで作ってもらいたいです。



卒業を控えた六年生との会談を進めています。この日は2回あったのですが、2回とも二人でした。欠席者がいたためです。一回に四人ずつで予定しているのですが、少し寂しい会が続いてしまいました。その分、一人ひとりから話をたくさん聞くことができました。「一年生の時の思い出」や「先生に怒られた思い出」など、毎回楽しい話を聞かせてもらっています。

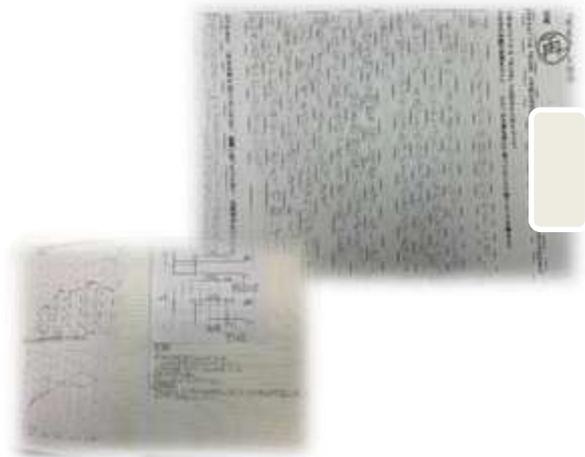


三年生が音の伝わり方の学習をしていました。糸電話とトライアングルを使い、音が伝わってくることを実感している活動でした。「校長先生も、どうぞ」と言ってもらったので、体験してみると、私も音の伝達を実感しました。他の人にも味わってもらいたいと思うほどの感動があったのだと思います。良い活動ができたのでしょうか。



2月15日（日）問い

出勤。預かっていたノートやワークを見ると、振り返りで「問い」が書いてある子が多く嬉しくなりました。残務整理中、メールをチェックしていると「HPが更新できるようになった」との連絡を見つけました。約2週間、たまりにたまったデータを一気にアップしました。毎日行っていた作業ですが、久しぶりに行うと時間がかかってしまいました。毎日続けて行うことの価値を感じます。



2月14日(土) 三回忌

父の三回忌があり、久しぶりに兄弟三人が集まりました。お墓に来るのもお彼岸依頼。母校である小学校を見るのもそれ以来。こういう機会がないと行けない場所、**会えない人がいる**ことを、この年になると感じます。天気も良く、**春を感じる気候**でした。**インフルエンザ**の脅威が去ってくれることも願いながら、父に手を合わせました。



2月13日(金) リハ・音読・春

来週に保護者会を控えて、その**リハーサル**をしている姿を何組か見ました。**四年生**では、リコーダーの練習をしていました。仕切る子がいて、並び順や出だしなどをメンバーに**指示**しています。音楽で吹けるようになった曲を披露するのだと教えてくれました。本番では分からない、その**過程**を本当は見てもらいたいのですが、ぜひ**想像**してもらいたいです。



一年生の国語授業で、**全員で音読**している場面を見ました。先生の読み方に寄せようと、張り切って声を脱しています。張り切っている様子は腕に表れます。**腕がピンと貼って**、教科書が顔と同じかそれ以上の**高さ**にあるのです。音読は脳への刺激もあり、**読解力**が高まると聞いたことがあります。一人でもできる**トレーニング**。もっともっと良い声で、**速く、正確に読める**ようになってもらいたいです。



校内を歩いているとき、新たな掲示物を見つけました。「**春はもうすぐ**」というタイトルがついています。まだ寒い日が続き、学級閉鎖もある校内ですが、気持ちがあかるくなりました。四月を思います。進級した扇っ子がどんな姿で活動するのか。放課後は、この思いを象徴するように、**学級編成**の会議がありました。もうすぐ春です。



2月12日(木) カルタ・見学・データ



本日は、**二年生**と**三年生**が彩の国郷土カルタ体験を行いました。地域で指導している方だけでなく、この活動で育った**OB**もかけつけてくれました。総勢8人で支援をしてもらいました。郷土のことを知り、**俊敏性**も育ち、ルールを守る態度も身につきます。何よりもチームで競うので、**協働心**も育つ、とってもすばらしい活動です。子供たちも大喜びで取り組んでいました。

三年生がクラブ見学をしました。四年生以上は普段通りの活動ですが、見学する三年生のためにいろいろとメニューを用意していたようです。器楽・合唱クラブやダンスクラブに行った子が「四年生～六年生は**すごい**」と感想を送ってくれたのです。希望するクラブが決まった子もいますが、多くの子はまだ**迷っている**ようです。四月、どのクラブでどんな活動をしてくれるでしょうか。

五年生の算数では「扇小学校は**けがが**少ない学校である」について、データに基づいて検証をしていました。ある子は、A市と扇小の**一日あたり**のけがの人数を調べ「少ない」ことを主張。ある子は、**経年変化**を折れ線グラフにして、扇小の方が年々減っていることを根拠にしました。自らの学年のけが人の**割合**で比較した子もいました。データは活用法によって、様々なことを主張できることを実感してくれたら、ありがたいです。



2月11日（水）あいさつ

昨日、**六年生**に家庭科を教えている教員から、素敵なデータを見せてもらいました。地域のために活動したことを**プレゼン**して発表したものです。ある子が地域であいさつをしたら、とても気持ちがよかった。地域の人からも、気持ちよくあいさつしてくれるようになったことを報告したときのものです。ゆっくり見せてもらおうと、昨日**データ**をもらったのです。本日は、何人かのものを、見せてもらいました。すばらしい活動が行われています。



2月10日（火）なわとび・和紙・探求

体育朝会。前はとて**厳しい環境**下での活動でした。今回は、優しい環境、風もなく、比較的暖かい中で行いました。見学者も少なく（欠席者は多い）、**扇っ子が気持ちよく**校庭に足を踏み続けました。難しい技になっても、一年生はひたすら**真似**をしようとする跳ぶ姿が、とっても印象的でした。朝会后に感想を送ってくれた六年生の一人が「久しぶりに校庭で**運動ができて嬉しかった**」と書いてくれました。



四年生が和紙に習字で自ら選んだ言葉を書いています。扇っ子タイムで探求していることの**紹介**になると聞きました。「ピアノ」「YouTuber」などの**夢**を書いている子や、「平和」「笑顔」など、自分の**生き方**に関する言葉を書いている子もいます。ある子が「**お金持ち**」と書くと宣言すると、そこに数人が集まってきました。「本当に書くの?」「どんな字で書くの?」と興味津々で、その子を取り囲んでいました。



五年生が扇っ子タイムで探求したことを発表していました。「命とは」「**宇宙**とは」「なぜ〇〇は**弱かったのか**」「幸せとは」「自動車について」「**飛行機**について」「動物について」などなどの発表が繰り広げられていました。見ることができなかったことの中に、ぜひ聴きたかったものがありました。「**なぜ国によって短距離走のタイムに差があるのか**」がありました。どんな探求をしたのか、あとで聞いてみようと思います。



2月 9日（月）登校・グラフ・おうち

2時間遅れの登校の様子を見るため、**車で学区内**を走りました。多くの**保護者**の方がお子さんを見送っている姿を見て、感謝の思いを強く持ちました。また、低学年が転ばないように優しく歩く**班長さん**の姿も見ました。朝は道が混んでいたため、遅めの登校がより安全だったと



感じます。登校してきた子供たちの中には、**雪**を投げ合っている子もいました。

五年生が算数で、**グラフ**を使って扇小のケガの状況を理解しようという活動をしています。非常に多くのデータの中から、分析や報告したいものをピックアップして、グラフに表しています。擦り傷の学年別件数、年度ごとのけがの数、けがの種類割合などを、**円グラフ**、**折れ線グラフ**、**棒グラフ**にまとめています。本校のけがの分析をして、**けが防止の提案**をしてくれたら、ありがたいです。

六年生に授業をさせてもらいました。「**おうちって**」という詩を使って、作者の思いや状況などを学び合いました。最後に「**あなたにとって**、おうちとは？」と聞きました。「**安らげる場所**」「**しあわせな所**」「**いやされる場所**」「**休める場所**」など、詩の作者が願う「おうち」の姿を書いてくれる子が多く、詩を理解してくれたのだと感じました。「**泣いてもいいし、笑ってもいい場所**」と書いてくれた子もいました。



2月 8日（日）2時間遅れ

午前中、外出。明日の登校の心配はないと、自宅付近の状況を見て勝手に判断しました。**タブレット**を持たずに出かけたところ、**スマホ**に「明日は市内一斉に2時間遅れ」との連絡が入りました。判断が甘かったです。タブレットがないため職員への連絡ができず、教頭先生にお願いしました。普段から「**最悪の事態**」を想定していないとならぬことを、大反省しました。



2月 7日（土）雪が

朝から普段通り、校長室で仕事をしました。いつも以上に寒く、校長室も温まりません。校庭では**雪**がぼらつく中でも元気にサッカーをしている子がいます。午後、校長室



の窓をたたく人がいました。中学生です。校庭にカバンが落ちていたというのです。「取りに来るかもしれないから、近くの雪が当たらない場所に置いておいて」とお願いしました。寒さが少し和らぐ、嬉しい卒業生の行動です。自宅に帰ると、愛猫は体を寄せ合っていました。

2月 6日（金）似顔絵・跳び箱・赤ちゃん

一年生が六年生の似顔絵を描きました。卒業前にプレゼントする、恒例の活動です。一年生が一生懸命描く姿を、温かいまなざしで見守る六年生、毎年見るこの光景が卒業間近を物語ります。「一年生が楽しそうだったからよかった」「一生懸命描いてくれたので嬉しかった」などの感想を、六年生が送ってくれました。中には「もう少し上手に描いてほしかった」というコメントもありましたが、楽しくてあたたかい時間になったことでしょう。



三年生が体育館で跳び箱をしていました。台上前転から頭跳ね跳びに発展する技の練習をしています。台上前転で苦勞している子に交じって、きれいな頭跳ね跳びをしてピタッと着地をしている子がいました。たいていこのような子は体操を習っているというのが私の経験であります。聞いてみると「何も習っていません」と、涼し気に答えてくれました。



一年生が国語で「どうぶつの赤ちゃん」を読んで学び合っていました。ワークには、ライオンとしまうまの成長過程を書いています。「お母さんにくわえてもらわないと、動けない」「うまれてすぐに立つ」「一か月でエサを食べる」などなどが書かれていました。文章から書きだすのに必死でしたが、ぜひ自分たちの成長過程と比べてもらいたい、そんな「？」が生まれてほしいと思いました。



2月 5日（木）中学・遊び・九九

六年生が向原中学校へ一日入学。体育館では、合唱クラ



ブの子の校歌、二年生による中学校生活の説明、埼玉県ネットアドバイザーからの情報モラルの講義、教室の授業を体験しました。授業は、国語、理科、英語、社会でした。感想を送ってくれた子がいて、「勉強の時間を増やしたい。スマホの時間を減らしたい」と書いてありました。すでに中学校生活は始まっています。

一年生が生活で昔の遊びをしていました。コマ回し、あやとり、お手玉、けん玉などをしていました。私も一緒に遊んでもらいましたが、けん玉もコマ回しも上手な子にはかないませんでした。ふと、先日三年生がコマ回しをしていたことを思い出しました。幼稚園で体験しているという話を思い出しました。三年生よりも上手だと感じたのは、ブランクが短いことが理由でしょう。

日々の九九検定、初顔は減ってきました。その分「三回目です」などリベンジの子が増えてきました。もう「緊張」を理由にする子はいません。今日も多くの子が合格しました。「やったー！！——」と職員室中に聞こえるような大歓声をあげる子もいます。合格者以上の大きな声で大喜びする応援団もいます。この日は十人近くが合格しました。



2月 4日（水）振り返り・集合4・お礼

二年生が一年間を振り返り、思い出を作文していました。「ラーメン体操」「九九」「運動会」「遠足」など、思い出を一つに絞って、その時の気持ちを書き出していました。「楽しかった」「ドキドキした」「驚いた」などの気持ちの記述の中に、「？」を書いている子がいて嬉しくなりました。「どうしてできないんだろう？」「どうすれば上手になるんだろう？」などです。「？」がたくさん生まれる子が育っていると確信しました。

広報委員会が「集合第4弾」の放送をしました。サイトウさん、タハカシさん、ナカムラさんに続く企画です。委員長の話によると、この苗字が一番扇小では多いのだそう



です。残念ながら集合したところには、行けませんでした
が、会議をしていた校長室には職員室に移動してくる**キク
チさん**の声が聞こえてきました。新聞にまとめてくれるよ
うなので、結果を楽しみにしたいです。

復職を目指している職員が、本日でリハビリ職務を終
えました。**帰りの会**では、ある子が突然こんなことを言い
ました。「みんな、〇〇先生に**お世話**になったので、**お礼**
を言おう。僕が言うから、みんな**ありがとう**ございまし
たと言って」。誰かに仕込まれたわけではないことは、後
で確認できました。**優しい子**、人の気持ちが分かる子が育
っていることに感激した場面を見ることができました。



2月 3日（火）節分・昔・健康

一年生が体育館で節分集会を行いました。節分について
の話を先生から聴いていると、**不穏な音**が流れ、後方から
鬼が登場しました。一年生は大騒ぎで逃げ回りました。そ
の後には、驚かせた怖い鬼に向かって「**豆まき**」。鬼の中には
六年生もいたようで、「六年生が**かわいそう**だった」と感想
を送ってくれた子もいます。大きな鬼に、大きな豆を、思
いっきり投げつけたので、**大きな福**がやってきそうです。



三年生が**アリット**へ行き、昔の生活について学びました。
説明を聴いたり、昔の遊びを体験したり、**着物**やげたをは
いた子もいます。入間市の昔の様子についても学びました。
コマ回しをしているところへ行ってみましたが、回ってい
るコマはあまりありません。一人が見事に回して見せまし
たが、その子は「幼稚園でやったから」と言っていました。
子供の生活の中に「**コマ回し**」がなくなっていることを実
感しました。



生活目標集会。放送にて担当から「**健康**」についての話
がありました。学校生活でどんな姿であれば健康なのか、
5つの指標が伝えられました。一年生の教室にいましたが、
一番子供たちの手が上がったのが「**元気にあいさつ**や**返事**
ができる」でした。手が上がりかけたり、上がったりにして



から降ろす子が多かったのは「食欲がある。体を動かすことが面倒と感ぜない」でした。健康第一。この日も、新たに2学級で、翌日からの「閉鎖」を決めることとなつてしまいました。

2月 2日(月) ピンチ・活動・アサガオ

ある学級の国語の時間に、「大ピンチ図鑑」のカルタカードが登場しました。配布された札の中から一枚を選んで、それを作文にするという活動です。ある子が選んだのは「は」です。「先生が大事な話をしているのに、一人だけ聞いていなかった。すると・・・」と作文が始まりました。後で先生に訊いてみると、「何かいいモノがないか探していて出会った」と教えてくれました。我々も常に挑戦心を持っていたいと、この先生から教えてもらいました。

六年生が、地域のために活動したことを発表し合っていました。「会った人にあいさつプロジェクト」「〇〇公園と〇〇クリーン作戦」「公園スッキリ大作戦」の発表を見ました。あいさつすると相手も喜んでくれた、公園の遊具の葉や砂をきれいにしたら気持ちよかった、ゴミがたくさんあったけど友達ときれいにしたらすっきりしたなどの報告がありました。すばらしい取り組みだと感心しました。

一年生が、四月に入学してくる子にアサガオの種をプレゼントします。その入れ物にメッセージを書いています。「給食おいしいよ」「カレーは特においしいよ」「ひき算がんばってね」「いっしょに遊ぼうね」「勉強楽しいよ」「頭をきたえてね」「いっしょに帰ろうね」などのメッセージが書かれていました。自分たちももらったアサガオのプレゼント。しっかり伝承してくれています。



2月 1日(日) みらい

所用があり出かけました。駅で乗ろうとした電車に、絵が描かれていました。今では電車の絵は珍しくありません



が、この車両には「**みらい絵コンクール**」の絵がありました。小学生部門の絵です。思わず写真を撮ってしまいました。この子が描いた絵には、フクロウやコウモリがいます。おそらく自然豊かな、動物と人間が共存する未来を描きたかったのでしょう。**明るい未来**を願います。